ほけんだより ～冬号～

２０２６年１０月２３日（金）
社福）伸晃会保健衛生チーム

一日の中の寒暖差が大きくなり、冬の感染症流行の季節がやってきました。今後はますます感染症流行への注意が必要な時期になりますが、これまで通り手洗い・うがい等の基本的な感染予防対策をし、規則正しい生活を心掛けていきましょう。

気をつけよう！冬の感染症



感染症に関する詳細はHPに掲載されている「ほけんのしおり」をご確認ください。

インフルエンザ

原因

インフルエンザウイルスに感染することが原因で、主にA型・B型のウイルスが流行します。感染した人の咳やくしゃみ、会話による飛沫で感染します。



症状

急な発熱と強いだるさ、体の痛みが特徴です。子どもでは吐き気・嘔吐・下痢などが見られることがあります。

対応

発熱やだるさがあるときは無理をせずにゆっくり休みましょう。予防接種を受けることで発症や重症化を防ぐことが期待できます。呼吸が苦しい意識がぼんやりしているなどの場合は早めに医療機関へ相談しましょう。

RSウイルス感染症

原因

ＲＳウイルスの感染によって起こる集団流行しやすい感染症。特に１歳未満の乳児がかかりやすく気管支炎や肺炎をおこす。

症状

鼻水や咳などの症状で始まり、呼吸時にヒューヒュー・ゼーゼーといった音が出る。重症化すると危険な状態になることも。

対応

今のところRSウイルスに対する根本的な薬はない。こじらせないように早めの受診を。



感染性胃腸炎

原因

ウイルスの感染によるもの。冬はノロウイルス、ロタウイルスが代表的。主に経口、飛沫感染だがノロウイルスの場合は、食品から感染することも。生後半年から２歳くらいの子が多くかかる。

症状

激しい嘔吐の症状が突然現れ、下痢がその後に続く。発熱することも。ロタウイルスの場合は便が白っぽくなります。

対応

激しい下痢が続くのでイオン飲料や湯冷ましなどで十分に水分を補充し脱水症状にならないようにする。



肺炎

原因

ウイルスや細菌が肺に入りこみ炎症を起こした状態。インフルエンザや風邪をこじらせてかかることが多い。

症状

肺炎になると発熱や咳、息苦しさ、だるさなどの症状がみられます。かぜのような症状でも咳が長引いたり呼吸が苦しそうな場合は注意が必要です。

対応

レントゲンをとって肺炎かどうか診断します。抗生物質を服用して治療しますが症状によっては入院が必要なことも。

ほけんのしおり

社福）伸晃会保健衛生チーム

1・発熱時の対応について

保育中に37.5度以上の発熱や呼吸器症状が見られた際には状況報告の連絡をさせていただきます。38.0度以上の発熱が確認されたときに迎え要請の連絡をいたします。

＊体温が38.0未満の場合でも呼吸器症状や消化器症状等の悪化が見られた場合には、迎えをお願いすることがあります。
＊保護者の方が直ぐに対応できない場合は祖父母等の協力を確立し代理の方のお迎えをお願いします。
＊緊急連絡先（職場もしくは仕事用携帯等）の順番に連絡させたいただきますので必ず連絡の取れる番号を申請してください。また、保護者の方が休みの場合は必ずお知らせください。
＊解熱後はお子様の体調（食欲・排便・咳等）をよく観察し、1日様子を見てから登園するようご協力お願いします。
＊感染症、体調不良後の登園の際は休み中の様子を必ずお知らせください。
＊熱性けいれんの既往のある園児は37・5度でお迎えの連絡をさせていただきます。

2・くすりについて

園での投薬は原則禁止です。

＊医師の指示で園での投薬が必要な場合は「医師の指示書」「保護者の申請書」に基づいて投薬を行います。
＊園に薬を持たせる場合は1回分をご持参ください。シロップ薬も同様です。
薬の袋または容器には日付・クラス名・氏名・薬名を記入し職員に直接お渡しください。
（ジップロック等にいれてください。）
＊気管支拡張テープを貼って登園する際は必ず職員にお知らせください。
気管支拡張テープははがれやすいのでフィルムテープや絆創膏などで補強をし記名をお願いします。
気管支拡張テープを貼って登園する場合はスイミング・プール遊び・水遊びはお休みとなります。

3・アレルギーの対応について（食物・薬剤・花粉等）

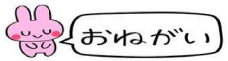
園生活の中で医師の指示により生活管理が必要な場合は「アレルギー生活管理指導表」の提出が必要となります。

＊入園時に配布している家庭状況の用紙にアレルギーを記入する欄がありますので対象となる園児は記入をお願いします。 花粉症用メガネの着用も対象となります。

4・発疹時の写真撮影について

発疹などが体に出た場合、発疹の状態を写真に記録させていただくことがあります。

＊発疹によっては時間経過とともに消失してしまうことがあります。受診時にスムーズな診断が受けられるよう降園時に確認してください。必要があれば携帯で撮影していただいてもかまいません。



＊予防接種後の登園はお控えください。
ワクチン接種後の副反応として一時的に発熱・発疹が出ることがあります。休日または降園後に接種を受けていただけるようご協力お願いします。また、副反応の観察のために接種後は園に報告をお願いします。

＊園では流行性疾患を把握するため「ほいくのれんらく」のメッセージ欄には具体的な症状・または疾患名を入力して下さい。
（例：鼻水・咳・発熱・腹痛・嘔吐・下痢　インフルエンザA型　など）

＊当園では戸外遊びに出る際に虫よけスプレー（ディートフリー）使用しています。
虫よけスプレーを使用したくない方は担任へ申し出てください。
0・1歳児クラスは戸外遊び時、2歳以上児は午後の戸外遊び時に使用しています。虫さされが気になる方は登園前にご家庭でつけてきてください。
（虫よけパッチ・かゆみ止めパッチは誤飲防止のため貼ったままの登園はご遠慮ください。）

感染拡大防止策について

当園では厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」を参考に、園内の感染症拡大防止に務めております。

1・感染性胃腸炎・流行性嘔吐下痢症の対応について
＊ご家庭で体調の変化（嘔吐・下痢）が見られた場合は受け入れ時に必ずお知らせください。
＊園では嘔吐物・下痢で汚れた衣類等は感染拡大防止のため洗濯をしないでビニール袋に密閉し返却させていただきます。
＊感染性胃腸炎には感染力の強いものもあり症状によっては出席停止の措置が必要とされるものもありますので嘔吐や下痢の症状が出た場合は必ずかかりつけ医に診断してもらいましょう。

＜ご家庭での吐物・下痢便のついた衣類の消毒方法＞

1：汚物のついた衣類等を取り扱うときは使い捨て手袋などをして直接触れないようにしましょう。
2：汚物の付着したものは周囲を汚さないように移動しましょう。
3：汚物処理の際はマスクを着用し、水洗いをして汚物を取り除き、色落ちしないものは塩素系の漂白剤に10分間浸しましょう。※色落ちするものは85℃の熱湯1分でも消毒効果があります。
4：洗濯する際はほかのものと分けて行いましょう。
注）処理せずに洗濯機で洗うと洗濯機が汚染され、他の衣類にもウイルスが付着します。水洗いした場所もきちんと消毒しましょう。

登園停止の感染症について

登園停止の感染症に罹患したときは、医師の許可があるまで休ませ必ず園まで連絡してください。
＊お手数ですが発症日・登園停止期間・登園再開予定日を「ほいくのれんらく」にご入力いただきますようお願いいたします。
＊インフルエンザ・新型コロナウイルスは保護者記入の療養報告書の提出となります。
（療養報告書の裏面に療養期間が記載してありますので参考にしてください。）
その他の感染症では医師の治癒証明を受けてからの登園となりますのでお間違えの無いようお願いします。
＊各証明書が必要な方は職員にお声かけください。園のHPからダウンロードできます。
＊年末年始や休園中に罹患し完治した場合も登園時に証明書が必要になります。
＊登園停止が必要な感染症についてはこちらのURLまたはQRコードを参考にしてください。
https://www.sakura.chs.nihon-u.ac.jp/pdf/standard.pdf

＜保護者の方が感染した場合の対応について＞

＊感染した保護者の方の送迎はご遠慮ください。
＊代わりの送迎者が見つからない場合は、園の送迎用駐車場より園に電話をお願いします。
職員が引き渡し対応するため車内でお待ちください。

＊インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行により下記の内容が発生した場合は休園となりますのでよろしくお願いします。
1：県や市の行政から休園措置の要請があった場合。
2：園内で発生が確認され、臨時休園が必要とされた時。
3：園職員の感染により保育に支障が生じ、臨時休園が必要とされた時。

アプリの紹介「教えてドクター」

病名や症状からホームケアの方法や医療機関の目安など知ることができます。また、緊急時の対応もあり育児に関する不安に役立つ内容です。